

## 山口東京理科大学大学院 工学研究科におけるポリシー

### 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

#### （修士課程）

1. 学士課程で修得した理工学分野の基礎的および専門的知識、ならびに研究のための基本的技能を「機械・制御工学」「電気・電子工学」「情報科学」「物質科学」「有機・生物化学」に関連する研究課題に適用し、より深く修める意欲のある人を求める。
2. 修士課程において研究を進めるための基礎となる研究計画の立案と遂行能力、論理的思考力、問題解決能力、表現力、および技術者倫理を有し、それをより高める意欲のある人を求める。
3. 修士課程において修得する高度な知識と技能を実践的に応用し、社会に貢献したいと望む人を求める。

#### （博士後期課程）

1. 修士課程で育まれた研究遂行能力と専門分野を中心とした幅広い知識を、「機械・電気情報分野」「物質・材料分野」に関連する最先端の研究に活かし、自ら課題を見出しながら研究を積極的に推進し、遂行能力と学識をより深く窮める意欲のある人を求める。
2. 社会の要請に弾力的に応えとともに国際社会に貢献したいと望む人を求める。

### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

工学研究科における教育課程は、機械工学、電気工学、情報科学、物質化学の分野に関連し、伝統的な学問区分や専門区分にとらわれない横断的・学際的な視点をもって理工学分野を展望し、広い視野に立って学識を養えるように編成する。この教育課程において修得した学識を活かして、自ら独創的な研究課題に取り組み、理学と工学の調和した研究および応用の能力を培うとともに、技術者・研究者が備えるべき問題解決能力と倫理観を醸成する。

#### （修士課程）

1. 専門分野ごとに 5 講座の「特論」を設け、3 講座を選択必修とし、自らの研究分野とは異なる分野を含む幅広い理工学の基礎概念を育成する。
2. 学外の講師による「特別講義」2 講座を選択必修として、最新の研究の進展状況を知るとともに、講師の学術研究に対する姿勢や創造性の育成の方法などの知見を広げる機会を設ける。
3. 「国際コミュニケーション」を設け、外国語によるプレゼンテーションの能力を向上させ、研究成果を情報発信する意識を高める。
4. 「キャリア指導」および「技術マネジメント論」を必修科目として置き、研究に対する意識を高め、修士の学位取得者として社会で活躍する心構えを養う。

#### （博士後期課程）

1. 修士課程で育まれた研究遂行能力および幅広い知識を最先端の研究分野に活かして、より深く窮め、社会の要請に弾力的に応えとともに国際社会に貢献するための能力を培う。

2. 自らの専門分野について世界的な視野をもち、その進歩進展を常に把握する姿勢を身につけるために、国内外の学会等での発表および討論の方法、ならびに学術論文の執筆に関する指導を行い、研究成果を正確に表現し、発信する能力を涵養する。

## 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

### （修士課程）

修士課程の研究教育を修め、技術者・研究者に必要とされる次の能力と資質を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学位（修士（工学）または（理学））を授与する。

1. 多様な専門性を要求される業務に必要とされる研究能力および学識とともに、技術者・研究者に要求される倫理観および常識を有している。
2. 理学と工学における理論と同時に応用能力を有し、それを用いて多様な問題の所在を明らかにし、常に基本に立ち返って対処できる能力を備えている。

### （博士後期課程）

博士後期課程の研究教育を修め、世界的水準で活躍できる専門家に必要とされる次の能力と資質を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学位（博士（工学）または（理学））を授与する。

1. 高度に専門的な業務に必要な研究能力とその基礎となる豊かな学識を修得し、それを技術開発や学術研究に応用することができる。
2. 高度な技術開発や学術研究を遂行するために、技術者・研究者のグループを組織し、リーダーシップをとることができる。